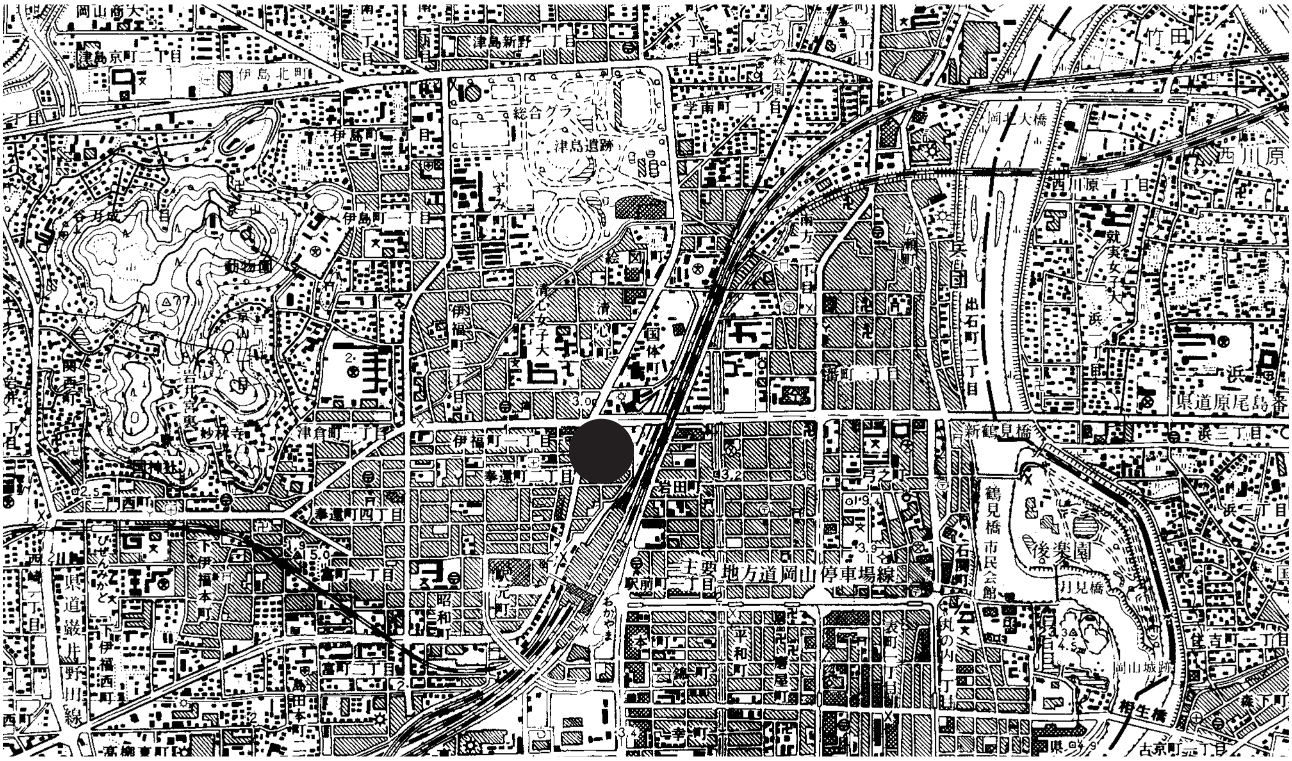
遺跡紹介

上伊福（済生会）遺跡（その１）

扇崎　由

【遺跡の位置】



S=1/50,000

【遺跡の概要】

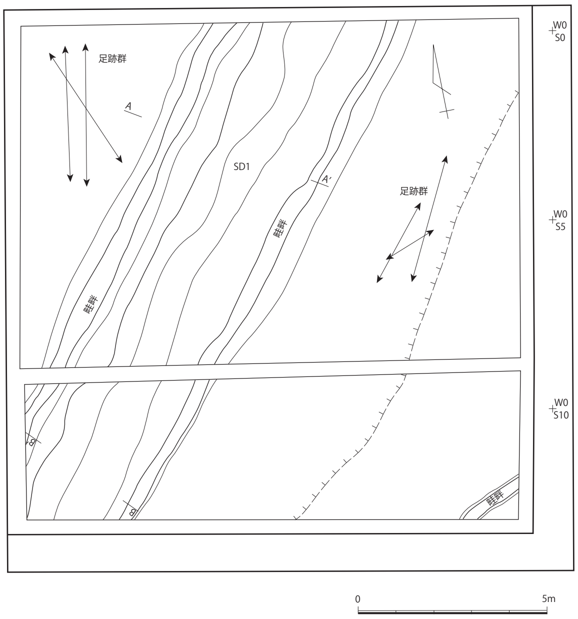
遺跡は、南方遺跡群の南端の一角。済生会病院女子寮建設に伴い調査した。弥生時代の中期中葉～後葉の土坑 11 基・柱穴 25 基・井戸２基・溝 19 条・河道１本などを検出。溝は北東から南西方向にある微高地に沿って形成されており、微高地から北側の低位部・河道へ移行する地点にあたる。古墳時代前期の遺構は、４条の溝で、その方向は弥生時代の溝と同じく微高地の方向に沿っている。古墳時代後期の遺構は大溝と水田を検出した。

【文献】

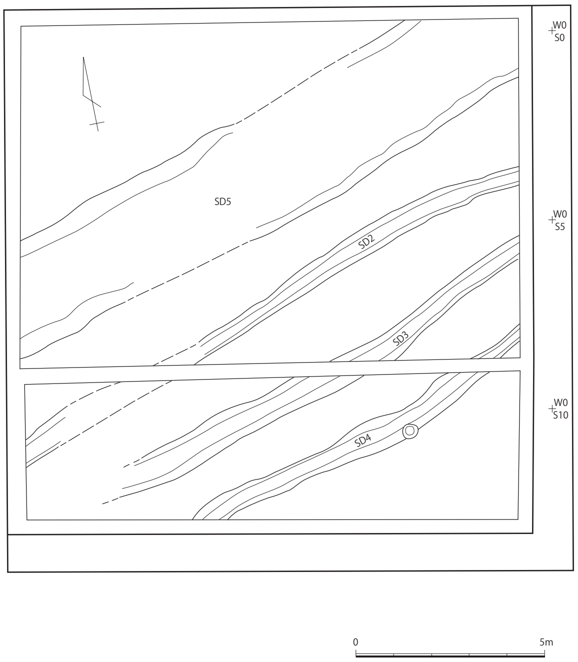
扇崎　由編　2015『上伊福（済生会）遺跡１』 岡山市教育委員会

【交通】

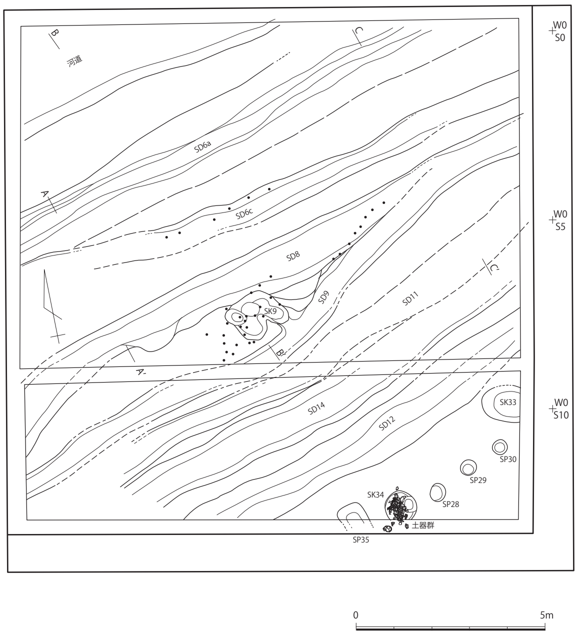
岡電バス・中鉄バス　国道 53 号方面・国道 180 号方面 「済生会病院前」下車　すぐ



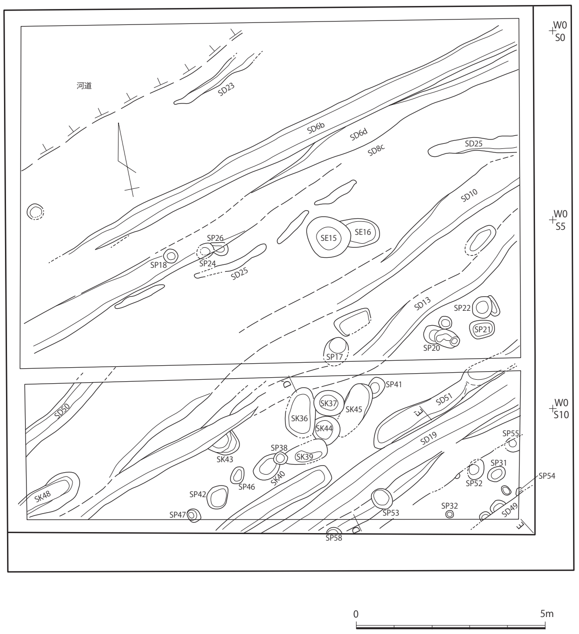
古墳時代後期全体図



古墳時代前期全体図



弥生時代全体図 1



弥生時代全体図 2